

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 046	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 植木の挿し木増殖におけるセル苗利用方法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】植木生産において挿し木増殖はその要となる技術である。神奈川県内は密閉トンネル内における箱挿しが長く主流技術として行われてきたが、近年はセル苗を利用する生産者が増えている。 【内容】挿し木におけるセル利用時の適正管理方法、セルサイズ、用土及び穂木調整方法等について検討してほしい。また、発根が容易な樹種については、穂木調整方法を簡易化し労力軽減を図るとともに、歩留まりの低下防止のために1セル内に複数の穂木を挿す方法について検討してほしい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発		
対応の内容等	植木生産での挿し木におけるセル利用については、適正なセルサイズ、用土、穂木の調整を中心に試験を実施します。発根が容易な樹種については、効率的な繁殖方法を検討します。なお、具体的な試験材料の樹種及び試験方法につきましては、年内に植木生産者及び普及指導員と意見交換を行いながら進めていきたいと考えておりますので、協力をお願いします。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			